

CentOSのインストール②

The background features abstract, colorful swirls in shades of green, purple, and blue. Interspersed among these swirls are several small, yellow, triangular shapes that resemble stylized sun rays or confetti.

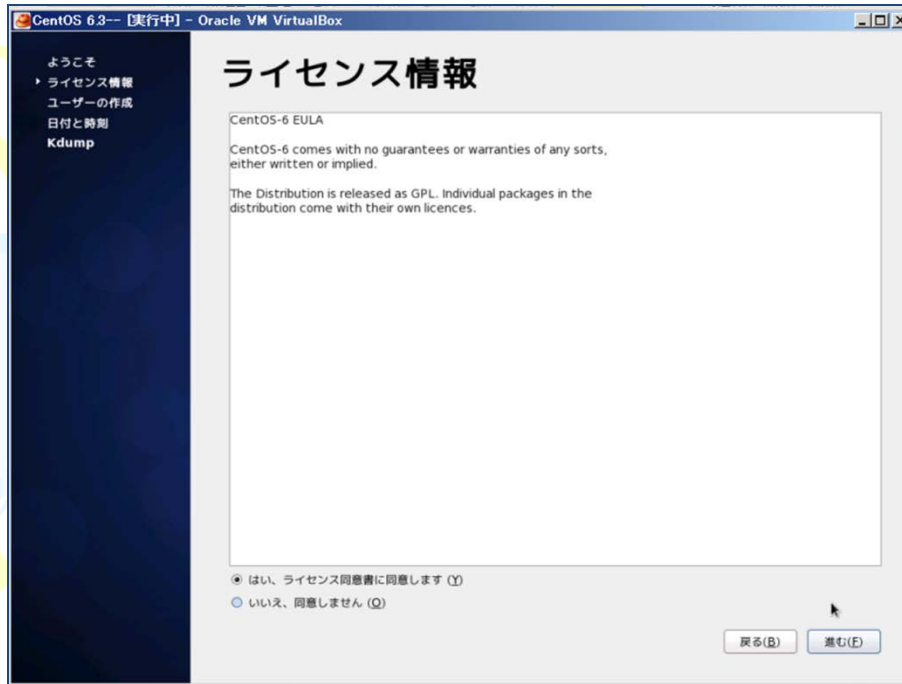
インストール 再起動後



進む

をクリック

インストール 再起動後



[ライセンスに同意する]

にチェックして

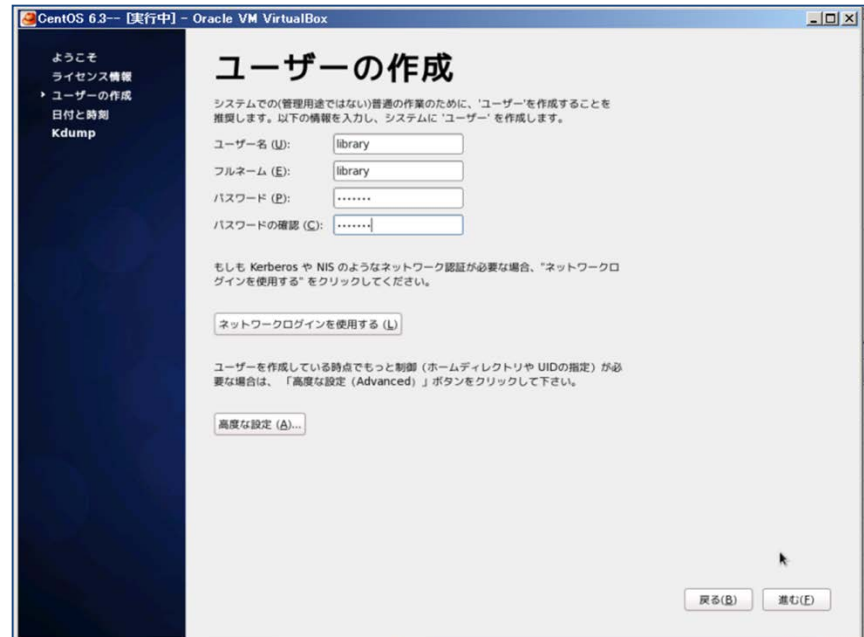
[進む]をクリック

インストール 再起動後

rootユーザ以外のユーザーを作成する。CentOS 6では一般ユーザーでログインするので、必ず作成する。実習用は4項目にすべて

library

と入力する
[進む]をクリック



インストール 再起動後

脆弱すぎる



というメッセージが出るが、
実習用なので使用する

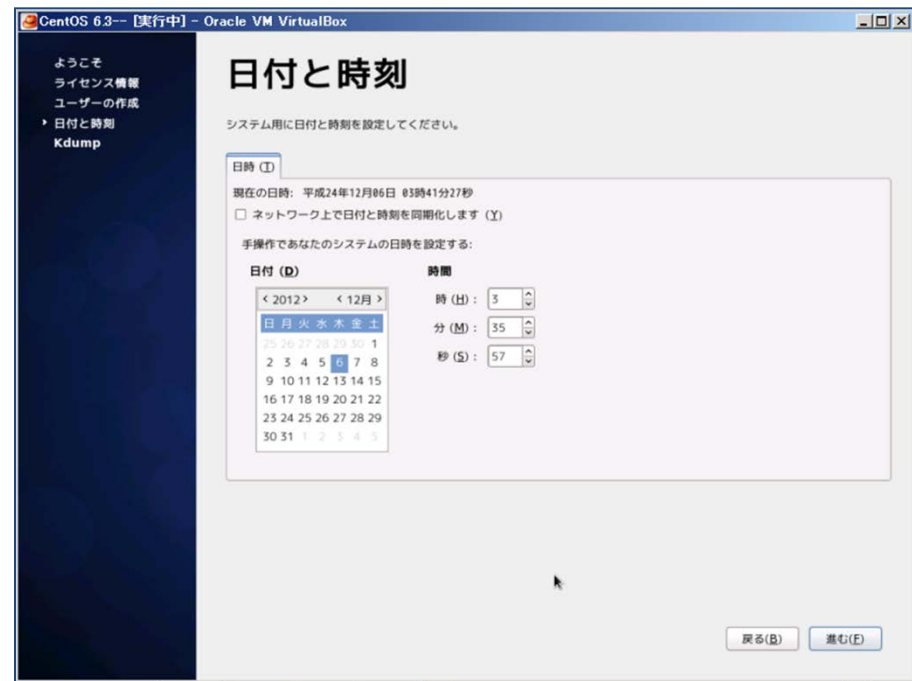
[はい] をクリック

インストール 再起動後

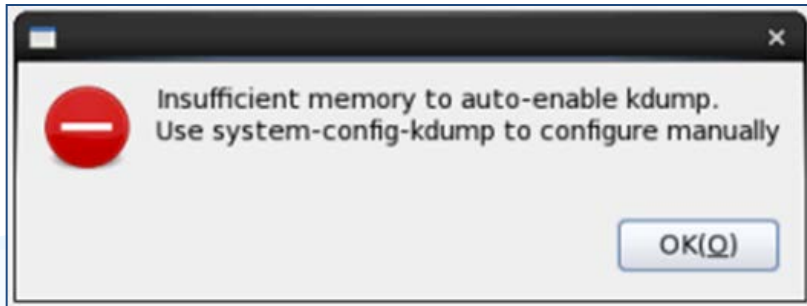
日付と時刻の確認

ネットワーク上の時計と同期する にチェックを入れてもいいが、実習用なので今回は入れない。
本番環境は入れておいた方がいい場合もある

[進む]をクリック



インストール 再起動後

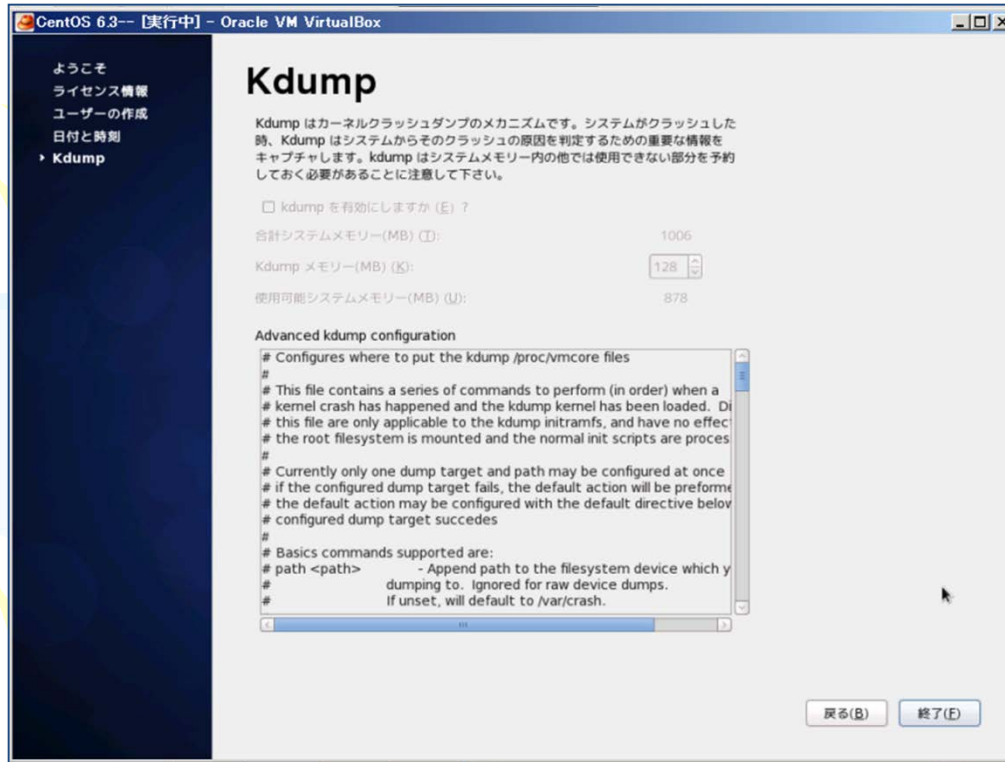


メッセージが出るが、

[OK]

ボタンをクリック

インストール 再起動後



Kdumpを設定する

[終了]をクリック、ログイン画面が表示される



インストール 再起動後

起動後のログイン画面

(CentOS 6.3のログイン画面)

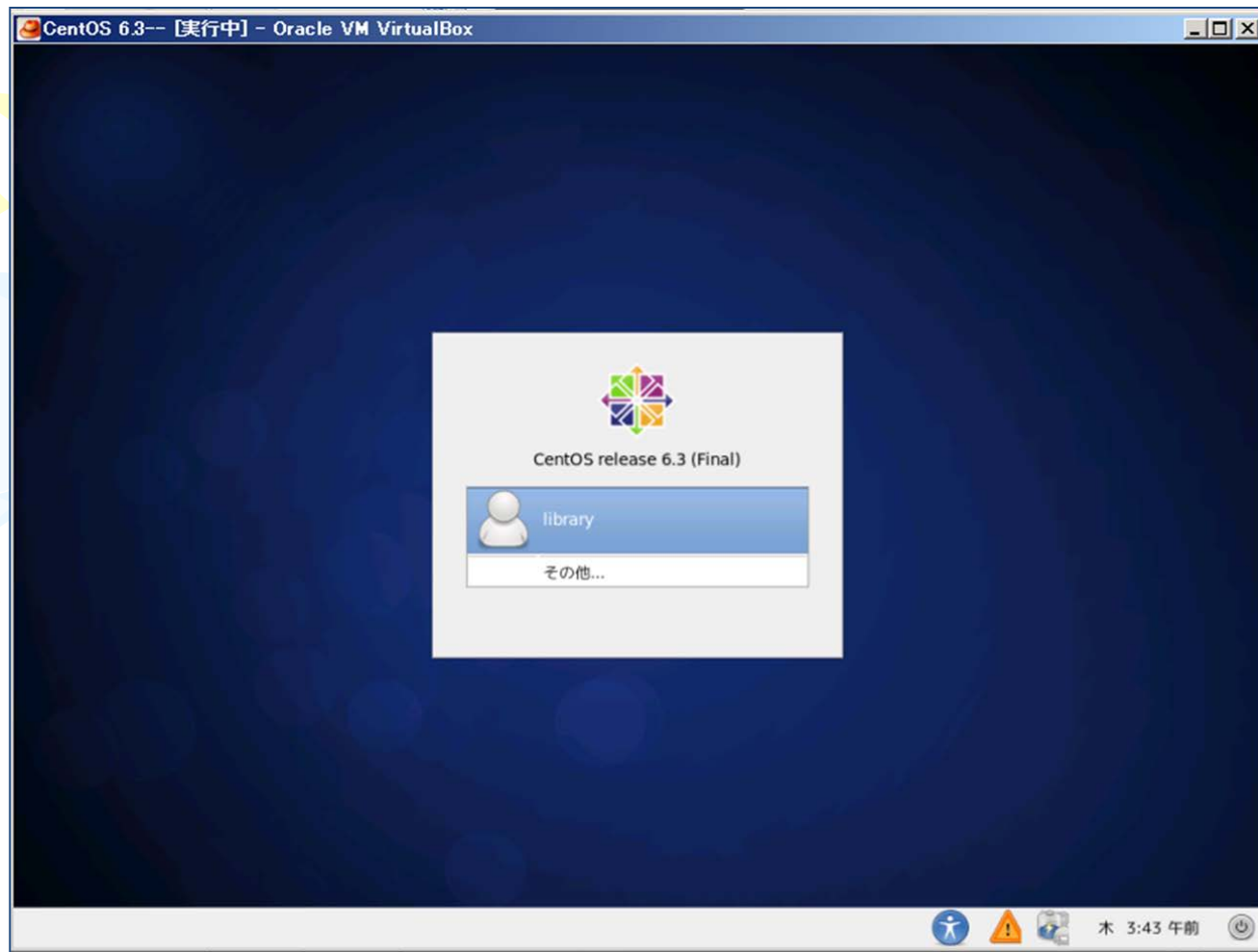


ユーザーを選択 : library

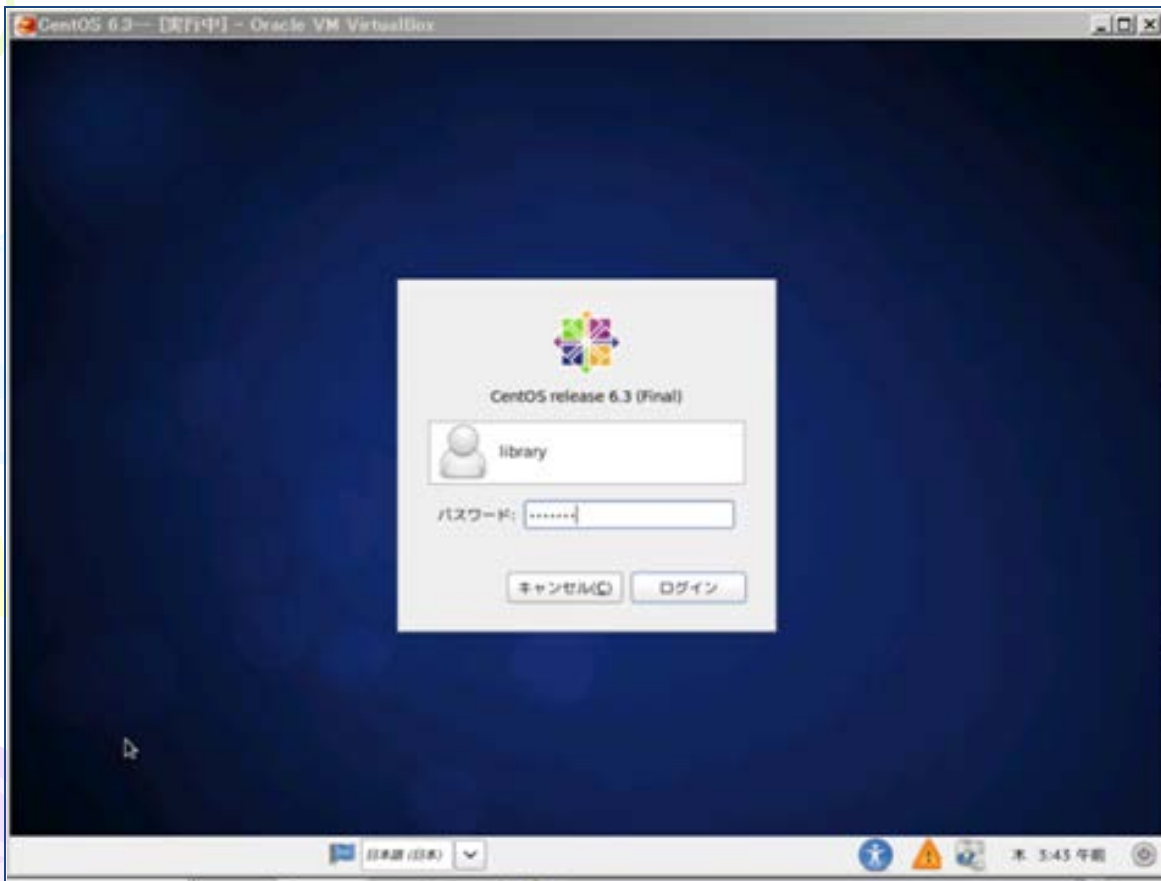
Enter キーを押す

OSインストール後は基本、この画面から始まる。

インストール 再起動後



インストール 再起動後

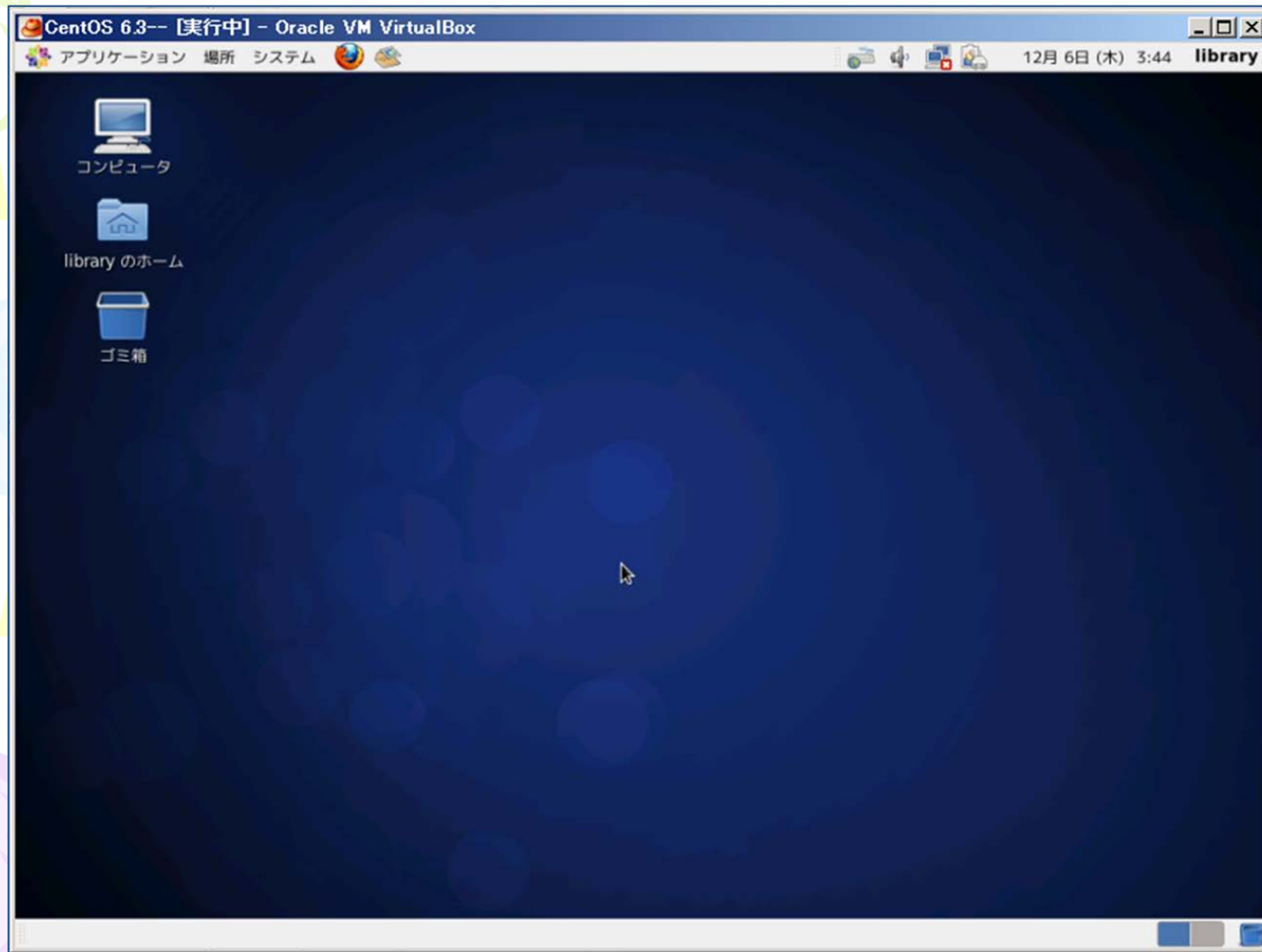


パスワードを
入力 :
library

Enter キーを
押す

ログインボタ
ンをクリックす
る

インストール 再起動後



ログイン
後の
windows
ライクな
画面

インストール 再起動後

■ファイヤーウォールの無効化

画面上部のメニューから、

システム > 管理 > ファイヤーウォール
を選択する

rootパスワードを聞いてくるので、入力する

無効ボタンをクリックする

適用 をクリック

インストール 再起動後

■SE-LINUXの無効化

/etc/selinux/configを直接編集する

```
# vi /etc/selinux/config
```

SELinuxを有効にする。

```
SELINUX=enforcing
```

SELinuxを無効にする。

```
SELINUX=disabled
```

サーバを再起動すると設定が反映されます。

インストール 再起動後

■ターミナル(端末)の起動

画面上部のメニューから [アプリケーション] →
[システムツール] → [端末] を選択する

ウィンドウが開くとそこにコマンドを入力できる。
以下、このウィンドウをターミナルと呼ぶ。

左端の [] の中は、今いる場所が表記される(略している場合あり)

インストール 再起動後

■ <一般ユーザーからrootユーザーへの切替
(スイッチユーザー)>

[...] \$ su△- [Enter] △は半角スペース

パスワード: ←パスワード入力 [Enter] (な
にも表示されない) library

[...] # ←これでrootユーザーに変更できた

端末内はrootユーザーとしてコマンドを実行できる。

インストール 再起動後

■ <root ユーザーでの端末>

] \$ となっている場合は一般ユーザー
(\$:ドルマーク)

] # となっている場合はrootユーザー
<スーパーユーザ> (#:ナンバーサイン)

※スーパーユーザー: インストールなどの際に用いる管理者。WindowsのAdministrator(s)の立場。